

胆道癌に対して当院でのGCD療法の治療成績の検討 情報公開文書

日本赤十字和歌山医療センターでは、以下にご説明します研究を実施します。この研究への参加を希望されない場合は、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。またお申し出された場合でも、いかなる不利益を受けることはございませんので、ご安心ください。

研究目的

胆道癌に対しての化学療法は暫くゲムシタピン、シスプラチン、TS-1のみのレジメンであったが、デュルバルマブが新たに2022年12月28日に保険適応となった。胆道癌初の免疫チェックポイント阻害剤であり、ゲムシタピン、シスプラチンとともに第一選択薬となった。まだGCDの治療成績に関する報告は少なく、当院での胆道癌における治療成績を検討する。

研究期間

2024年3月1日から2027年2月28日(3年間)の予定

研究の対象となる方

2023年1月から2024年4月の間に、当院で胆道癌に対してGCD療法を行った患者

研究の方法

電子カルテを使用して、匿名情報に加工したデータを使用します。このデータをもとに、PFS、OS、奏効率、有害事象などを調べます。

使用する情報および個人情報の保護

患者さん個人番号(ID)と氏名が含まれていない状態で、電子カルテからデータを抽出します。また研究用パソコンは、インターネットにつながりません。論文化から10年程度データを保存しますが、その後に適切にデータを破棄します。

研究資金・利益相反について

該当する利益相反はなく、研究資金は日本赤十字社和歌山医療センターから提供されます。

研究計画書などの入手・閲覧方法・手続き

研究計画書などは入手閲覧可能です。ご希望される場合は、下記までお問い合わせください。

個人情報の開示にかかる手続きについて

ご自身の情報を閲覧可能です。ご希望される場合は、下記までお問い合わせください。

研究責任者

外村 晃平 日本赤十字社和歌山医療センター 消化器内科 医師

共同研究者

中野 省吾	消化器内科	医師
松本 久和	消化器内科	副部長
上野山 義人	消化器内科	部長

お問い合わせ先

日本赤十字社和歌山医療センター 総務課
電話 073-422-4171 (代表電話)
所在地 〒640-8558 和歌山市小松原通4-20